

令和7年度

1 学年 美術科 年間指導計画・評価計画

担当〔岡田 恭子 〕

教 科 の 目 標	指 導 ・ 評 価 の 重 点 お よ び 工 夫 点			
	知識・技能の定着	思考力・判断力・表現力の育成	学習意欲の向上	学習評価の生徒へのフィードバック
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	・ICT 機器や板書、ワークシート、参考作品等を活用し、様々な作品やアーティスト、表現方法に触れる機会を設定し、より広い美術的知識を定着させる。 ・定期的に生徒同士の作品鑑賞の時間を設け、互いの良さや工夫に気付く授業を行う。	・基礎課題から発展課題のように関連した教材の設定。 ・題材ごとに発想構想から制作、発表鑑賞の工程を踏まえて計画的に授業を行う。 ・ICT 機器や参考作品を活用し、生徒の思考を広げる活動を行う。	・ICT 機器を積極的に活用し、美術作品をより身近に感じるものとして体感的に楽しむことができる授業を行う。 ・定期的に生徒同士の作品鑑賞の時間を設け、主体的、協働的に学ぶ環境を作る。	・個々の生徒の学習状況・能力に応じた目標の設定及び評価の工夫を行っていく。 ・ワークシートや授業振り返りシートを活用し、生徒の学習状況の評価を適切に行う。

◎単元(1～数十時間の学習内容のまとまり)は、学習進度および生徒の実態、その他の要因によって変更となる場合があります。その場合は各担当から生徒へ説明を行います。

月	単元・教材	ICT との関わり	時数	学習指導および観点別学習状況の評価の観点等		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
4	広げよう見て書く楽しみ 「オリエンテーション」 ・鉛筆スケッチ ・鉛筆の使い方 鑑賞 絵画など	大型モニター 実物投影機	2	○モチーフをしっかりと観察し鉛筆でグレースケールを理解しながら陰影をつけ写実的に描くことができる。 ○様々な作品を鑑賞し表現の多様性に気が付くことができる。	○自分なりに工夫し感じたことを表現しようとしている。	○表現活動を支える感覚や感動の大切さに気付いている。 ○作品や作者と出会い、美術を学ぶ楽しさや表現活動に意欲的に取り組める。
4	自然物を観察し、特徴を捉える。 鑑賞など	大型モニター 実物投影機	1	○日本及び諸外国の美術作品を鑑賞し、様々な表現や伝統について理解できる。	○様々な美術作品を鑑賞しながら形や色の使い方に注目し、作品を味わうことができる。	○自然を取り入れた美術について関心を持つことができる。
4 ～ 6	「絵文字」 デザイン 色彩 鑑賞など	大型モニター 実物投影機	12	○形や色彩などの性質及び、それらが感情にもたらす効果や構成の美しさなどを基に、分かりやすさと美しさを全体のイメージでとらえることを理解している。 ○視覚的な効果を考え、色を選択し、創意工夫することができる。 ○筆の使い方、色の選択を工夫することができる。 ○形や色、文字の表わし方を身に付け、表したいイメージをもちながら意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、創意工夫している。	○筆の使い方、色の選択を工夫し、丁寧に効果的な表現をすることができる。 ○色彩効果の工夫をし、平面構成をしている。 ○形や色彩の特徴や美しさを基に、創造的な構成を工夫することができる。	○美術の創作活動の喜びを味わい、主体的に構図や表現法などを意図に応じて創意工夫したり、創造的に表現したりする活動に取り組もうとしている。
7 ～ 11	点描画「ありえない世界」を描こう 絵画 鑑賞など	大型モニター 実物投影機	15	○想像画・抽象画について理解し、発想の多様さを理解できている。 ○点描の打ち方の種類を理解し、計画的に作業ができる。	○ありえない世界に発想の重点を置き、主題にあった構図を表現できる。	○美術の創作活動の喜びを味わい、主体的に構図や表現法などを意図に応じて創意工夫したり、創造的に表現したりする活動に取り組もうとしている。
夏休	「エコポスター」 (公募作品)			○視覚的な効果を考え、丁寧に、創意工夫して表現している。	○テーマに沿った発想から伝えたい内容について分かりやすさや美しさを考え、効果的な構想を練ることができる。	○ポスターデザインについて関心をもち、主体的に主題を生み出し、材料や用具の生かし

	色彩 デザイン			○伝えるという目的、形や色彩などの美しさや よさを考え、創意工夫することができる。	○色彩効果の工夫をし、平面構成をしている。	方を工夫している。
11 ～ 3	「暮らしの中の木の工芸品」 立体表現 彫刻 デザイン	大型モニター 実物投影机	15	○木の質感や特性、形や色が感情をもたらす効 果やぬくもりなどを全体のイメージで捉える ことができる。 ○木の加工方法などを身に付け、意図に応じて 工夫し、制作の順序など考えながら見通しを 持って表すことができる。	○木の特性や美しさを基に、使う場面や使う人の気 持ちなどから主題を生み出し、使い易さと美しさ などとの調和を考え表現する構想を練ることがで きる。 ○素材の特徴や美しさを基に、創造的な構成を工 夫することができる。	○美術の創作活動の喜びを味わい、主体的 に構図や表現法などを意図に応じて創意 工夫したり、創造的に表現したりする活動 に取り組もうとしている。
評価材および評価方法				・授業観察・途中及び完成作品 ・定期考査 ・ワークシート	・授業観察・アイデアスケッチ・途中及び完成作品 ・定期考査 ・ワークシート	・授業観察・提出作品 ・ワークシート